
社会政策学会 *Newsletter*

1994.7.15

No. 1

学会本部の交代

この度、社会政策学会の本部が、法政大学に代わりました。この機会に、この2年間、本母校として種々ご尽力くださった専修大学の関係各位、とりわけ加藤佑治、高橋祐吉、浅見和彦の3会員に、心からお礼を申し述べたいと思います。1996年春の総会まで、法政大学が本部事務を担当いたします。不慣れなうえに力不足で、いろいろ不行き届きの点が多いと思いますが、よろしくご指導ご協力のほどお願いいたします。

なお、住所や所属変更の際は、かならずお知らせ下さい。ご連絡やお問い合わせなどは、法政大学大原社会問題研究所内・社会政策学会本部宛にお願いいたします。fax でしたら土曜・日曜・祭日も含め24時間受信できますし、瞬時に送達され、記録も残りますので、なるべく fax でご連絡くださると好都合かと存じます。

電話連絡を必要とされる場合は、研究所内の学会員（二村一夫、早川征一郎、五十嵐仁）にお願いします。番号はつぎの通りで、いずれも直通です。ただし、しばしば部屋をあけておりますので、応答がない際は研究所庶務係を通じて呼び出して下さい。

fax（年中無休）.....0427-83-2311

二 村（月火水）.....0427-83-2317 自宅03-3990-5137

早 川（火水木）.....0427-83-2319 "0425-93-4585

五十嵐（火水金）.....0427-83-2318 "0426-67-8570

研究所庶務係0427-83-2307

会費納入のお願い

会費未納の方は同封の振替用紙でご送金ください。2年以上未納の方は、振替用紙に記載の金額をお納めください。金額の記載がない場合は、94年度分 7,000円（年報代 3,000円を含む）をお納めください。なお、夫婦会員、家族会員の場合は、そのことをご明記の上、年報代についてはお一人分だけご納入ください。

住所不明の会員

つぎの6会員の転居先が不明で、郵便物が届きません。新住所、所属などについてご存知の方は、本部宛お知らせ下さい。

石田 成則， 黄 聖哲， 鄭 夢準， 豊島 勉， 永瀬 順弘， 本山 貞一。

第 8 8 回大会総会報告

【概況】

第88回大会総会は、1994年5月28日、埼玉大学で開かれました。例年、役員選の開票に時間がかかり、推薦幹事の選考が翌日にもち越されることもあったので、今回は昼休み直前に総会を開き、投票実施後に休会し、午後5時から再開する形をとりました。議長には、西村裕通会員が選ばれ、その任にあたりました。

【審議事項】

下記の案件が加藤佑治代表幹事、および佐口卓監事から報告・提案され、審議のうえ賛成多数で可決しました。なお、予決算については、別紙の大会資料をご参照ください。また学会賞については、本ニューズレターの記事をご覧ください。

1993年度決算報告

1993年度会計監査報告

1994年度予算

社会政策学会賞表彰規程

なお、の学会賞の新設や、国際学会への加盟にともなう費用は、予算に計上されていないので、1994年度は「預り金」から支出することも承認されました。また、こうした新たな諸活動を別にしても、学会の財政状況は厳しくなっており、次年度には会費の値上げが避けられないのではないかとの見通しが、加藤代表幹事から示されました。

金井信一郎会員（明治学院大学名誉教授）を名誉会員に推薦することが了承されました。

【報告事項】

1) 加藤代表幹事から、『年報』第38集掲載の「学会記事」にもとづき、各部会・分科会報告がおこなわれました。

2) 相沢与一選挙管理委員長から、次のような幹事の選挙結果が報告されました。

(関 東) 戸塚秀夫、加藤佑治、高橋祐吉、二村一夫、栗田健、伊藤セツ、牧野富夫、早川征一郎。

なお、次点の大沢真理、兵藤つとむの両会員の得票は早川会員と同数であったため、規定により抽選で早川会員を当選と決定した。

(関 西) 竹中恵美子、西村裕通、熊沢誠、菊池光造。

(東北・北海道) 相沢与一、荒又重雄。

(中四国・九州) 下山房雄、清山卓郎。

また、監事には、佐口卓会員が選出された。

3) 第16期学術会議会員の推薦決定状況について

戸塚秀夫幹事から、会員推薦決定の経過とそれに関する幹事会での議論の内容が紹介されました。栗田会員は残念ながら補欠となりました。このため、幹事会では現状をどう評価し、今後どのように対応すべきか議論しました。一番の問題は、推薦決定に関わる資料が公開されず、協議さえ不可能なスケジュールのなかで、完全連記制による投票が行われ、しかも過半数をとらないと当選できない仕組みにあることが指摘されました。そこで今後は、当日議長から引きだした約束をいかして、経済政策研連の場で選挙制度の改善について議論するとともに、学術会議事務局に対しても、こうした問題点をあらためて指摘し、批判する必要があるということになりました。そこで、加藤代表幹事が今回の推薦人および前回の推薦人と協議し、意見書を取りまとめることになりました。

4) 国際学会への加盟について

国際交流委員の栗田健幹事から、ヨーロッパ社会保障学会とヨーロッパ労働経済学会に社会政策学会として団体加盟したことが報告されました。また、これを受けて、ヨーロッパ社会保障学会のヴァン・ランゲンドク氏から、社会政策学会の入会を歓迎する旨の挨拶を受けました。

5) 学会の改革について

役員選挙のあり方をはじめ、社会政策学会の改革が問題として提起されているので、秋の大会までに新本部校において問題点を整理し、今後の改革の進め方について提案してもらうことになりました。会員各位も、ぜひご意見、ご提案をお寄せ下さるようお願いいたします。

6) 前回総会以降に逝去された石垣辰男、新川士郎、松崎久米太郎の3会員に哀悼の意が表されました。

7) 前回総会以降に入会された11人の会員が紹介されました。

以上

【推薦幹事の選任】

なお、総会当日の夕、選出幹事によって推薦幹事の選考がおこなわれ、協議の結果、次の会員が、満場一致で幹事に推薦されました。

- (関東) 大沢真理, 工藤恒夫, 佐口和郎, 高田一夫。
- (関西) 石田光男, 浜岡正好。
- (東北・北海道) 美馬孝人。
- (中四国・九州) 野村正實。

【94～96期第1回幹事会】

5月29日12時半から第1回幹事会が開かれ、以下の件について審議・決定しました。

1) 互選により、二村一夫幹事を代表幹事に選出。

2) 各種委員の選出、委嘱

年報編集委員

- a) 委員長に高橋祐吉幹事を選任した(1996年春の総会まで)。
- b) 任期4年(1998年春の総会まで)の委員に、伍賀一道、町井輝久、森ます美の各会員を委嘱。
- c) 上井喜彦委員が任期途中で留学するため、後任として遠藤公嗣会員を委嘱することとした。
(任期は上井委員の残任期間である1996年春の総会までとなる)。
- d) 本部校からの委員1名については、近日中に本部校内で協議決定することで了承された。
(追記;その後、本部校からの1名は五十嵐仁会員に決定した。任期は1996年春の総会までの2年)。

日本経済学会連合の次期評議員

伊藤セツ幹事、高田一夫幹事を選出した。

日本学術会議経済政策研究連絡委員会の次期委員

加藤佑治幹事、荒又重雄幹事を選出した。

国際交流小委員会

栗田健、高田一夫、二村一夫の各幹事を選出した。

3) 新入会員; 次の2氏の入会を承認した。

中里操夫(清和女子短大)、丹下晴喜(立命館大学大学院)。

4) 第90回大会の共通論題

「技術と社会変動」を内容とすることを決め、コ-デネ-タ-として野村正實・大沢真理の両幹事を選任した。ただし、テーマを最終的に決定する前に会場校の要望を聞くこととした。

【担当校の交代】

関東部会の担当校が、駒澤大学(代表; 三井逸友会員)から日本大学商学部(代表; 永山利和会員)に交代しました。

社会政策学会賞が新設されました！

1994年5月、埼玉大学で開かれた総会で、「社会政策学会賞表彰規定」および「同規程に関する細則」が、次のように制定されました。

社会政策学会賞表彰規程

(目的および名称)

第1条 社会政策学会は、会員の社会政策に関する研究の発展に資するため、「社会政策学会学術賞」および「社会政策学会奨励賞」を設け、優れた研究業績を発表した会員を表彰する。

(社会政策学会学術賞)

第2条 「社会政策学会学術賞」(以下学術賞と呼ぶ)は、本学会に3年以上継続して在籍し、特に顕著な研究業績を発表した会員1名に授与する。

(社会政策学会奨励賞)

第3条 「社会政策学会奨励賞」(以下奨励賞と呼ぶ)は、本学会に3年以上継続して在籍し、今後の研究の一層の発展が期待される会員に授与する。

(審査の対象)

第4条 学術賞および奨励賞の審査の対象となる業績は、表彰の前年の1月1日から12月末日までの間に公刊された著書、論文またはそれに準ずるものとする。

(表彰)

第5条 学術賞および奨励賞の表彰は、全国大会時の総会においておこなう。

(選考委員会の設置)

第6条 学術賞および奨励賞の審査のために選考委員会を設ける。選考委員会は、幹事会が委嘱した若干名の委員によって構成されるものとする。

(選考委員の任期)

第7条 選考委員の任期は2年とし、重任しないものとする。

(審査の結果)

第8条 選考委員会は、定められた期日までに審査の経過および結果を幹事会に報告しなければならない。

(規程の改廃)

第9条 本規程の改廃については幹事会で決定し、総会の承認を得なければならない。

【付則】

1. 本規程に関する細則は別に定める。
2. 本規程は1994年1月1日から施行する。

「社会政策学会賞表彰規程」に関する細則

1. 奨励賞については、複数の授賞もありうるものとする。
2. 選考委員の氏名は会員に公表する。
3. 選考委員会に出席するための交通費は、年2回を限度として支給する。

なお、第1回の授賞は1995年春の総会でおこなわれます。対象となるのは、1994年中に発表された図書・論文です。また、本年度の選考委員には、加藤佑治、栗田健、竹中恵美子、西村裕通の4氏が選任されました。候補作については、自薦他薦を妨げないことが確認されています。

第89回研究大会（仏教大学）

プログラム 書評分科会新設

「今日の生活と社会保障改革」を共通論題とする第89回研究大会のプログラムが、このほど、下記のように決定しました。なお、大会は、本年11月5日、6日の両日、仏教大学（京都市北区紫野北花の坊町）で開催されます。

堀勝洋（上智大学）	” 国民生活と社会保障改革 ”
Bradshaw, J.R. (ヨーク大学)	” <i>Child Support and Social Security</i> ” 通訳:埋橋孝文（大阪産業大学）
山崎康彦（上智大学）	” 高齢化社会と年金改革 ”
二木立（日本福祉大学）	” 第二次医療・保険改革は成功するか ”（仮題）
川上昌子（淑徳大学）	” 介護問題の現状と福祉改革 ”
井岡勉（同志社大学）	” 社会福祉政策と参加・参画 - 老人保健福祉活動計画を素材に ”
総括討論座長	荒又重雄（北海道大学）、榎原朗（神戸学院大学）
主討論者	坂脇昭吉（鹿児島大学）、木下秀雄（大阪市立大学）
	前田信雄（札幌医科大学）、山本隆（岡山県立大学）

なお、新たな試みとして、5日午前、以下の書評分科会を開きます。（ ）内は評者です。

福祉国家・社会保障

社会保障研究所『社会保障の財源政策』東京大学出版会（武田宏）
相沢与一『社会保障 改革 と現代社会政策論』八潮社（大沢真理）
榎原朗『イギリス社会保障の史的研究』法律文化社（安保則夫）

労働・職場 1

栗田健『日本の労働社会』東京大学出版会（久本憲夫）
職業生活研究会『企業社会と人間』法律文化社（小笠原浩一）
京谷栄二『フレキシビリティとはなにか』窓社（遠藤公嗣）

労働・職場 2

野村正實『トヨタイズム』ミネルヴァ書房（佐口和郎）
小池和男『アメリカのホワイトカラー』東洋経済新報社
高梨昌『変わる日本型雇用』日本経済新聞社（柴田弘捷）

女性・家族

大沢真理・原ひろ子『変容する男性社会』新曜社（伊藤セツ）
竹中恵美子『労働力の女性化』有斐閣（中川スミ）
上野千鶴子『近代家族の成立と終焉』岩波書店（脇坂明）

高齢化社会・福祉

小川政亮・垣内国光・河合克義『社会福祉の利用者負担を考える』ミネルヴァ書房（大本圭野）
高木郁朗『自立と選択の福祉ビジョン』平原社（唐鎌直義）
古川孝順『社会福祉学序説』有斐閣（中原弘二）

第90回大会、成城大学で開催

第90回大会は、成城大学（東京都世田谷区成城）での開催が、確定しました。日時は、1995年 5月27～28日です。会場は新築のインテリジェント・ビルで、コンピュータ画面をそのままスクリーンに映写したり、OHPフィルムを使わずに、本や図表・写真などもそのまま拡大してスクリーンに投影できるハイテク機器類が各室に装備され、学会開催には理想的な条件を備えています。共通論題も会場に相応しい「技術と社会変動」（仮題）と決まり、野村正實・大沢真理両幹事がコーディネーターとしてプログラムを策定中です。

なお、自由論題などに報告を希望される方は、報告内容の要旨を400字程度にまとめ、本年未までに、本部までお申し出ください。

ヨーロッパ社会保障学会 (EISS) リレハンメル大会

社会政策学会が団体加盟したヨーロッパ社会保障学会 (European Institute of Social Security) の大会が、1994年 9月 8日～10日、ノルウェーのリレハンメルで開かれます。共通論題は "The Nordic Model of Social Security in a European Perspective" で、次のテーマで報告・討論がおこなわれる予定です。

"Basic historical trends in European social security"

"The Nordic Model of Social Security; A comparative description of the Nordic Model. Similarities and differences between the Nordic countries"

"Universal or occupational based social security schemes"

"Disability pension and rehabilitation benefits in a comparative perspective"

"Social security policies in the perspective of gender and equal treatment"

"Social security schemes and economic growth"

"Future prospects"

また、今年はノルウェーの社会保障制度創設100周年にあたり、その記念式典が 9月 5日にオスロで開かれ、国際会議の参加者はこちらにも出席できます。

参加を希望される方は、開催者に直接申し込み、あらかじめ会議の参加費などを送金する必要があります。すでに第一次の締め切りは過ぎており、今から参加できるかどうかははっきりしませんが、希望者は大至急、本部までご連絡下さい。参加費は1,500クローネです。

ヨーロッパ労働経済学会 (EALE) ワルシャワ大会

このほど、社会政策学会が団体加盟したヨーロッパ労働経済学会 (European Association of Labour Economists) の第6回大会が、本年 9月22～25日、ポーランドのワルシャワで開かれます。ただし、22日は参加登録とinformal reception だけです。23日から25日の3日間は、毎日 keynote speaker が講演するほか、午前と午後に、それぞれ6つの分科会 (parallel sessions) が開かれます。講演テーマと speaker は次の通りです。

"Four pieces of the unemployment puzzle" (Andrew Oswald, LSE)

"Emergence of Long-term Unemployment in Eastern Europe" (Oliver Blanchard, MIT)

"An Overview of Labour Markets in Transitions" (Jan Svejnar, カレル大学 Prague)

この他、24日には "On the Transition and the Labour Markets in Eastern Europe" についての round table discussion があります。

なお、分科会のテーマには次の18が予定されています。

Education and training, Efficiency wages, Inequalities in the labour markets, Institutions and economic performance, Migration and foreign workers, Labour demand, Labour market policy, Labour supply, Models of the labour market, Public sector pay, European and regional labour markets, Transitions in the labour markets in Eastern Europe, Unemployment, Unions and wage bargaining, Wage inflation, Wage structure, Women and work, Work patterns.

発行

社会政策学会

代表幹事 二村 一夫

〒194-02 東京都町田市相原町4342

法政大学大原社会問題研究所内

電話 0427-83-2307 FAX 0427-83-2311
